

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、フロントウイングスポイラーの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

## 取り付け上の注意事項

- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施して下さい。
- エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- フロントウイングスポイラーを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。  
(PACプライマーN200を本品に添付(未塗装品にはPACプライマーK500を添付))
- ①重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ①重要 ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ①重要 ■両面テープの圧着を十分に行って下さい。500kPa (5kgf/cm<sup>2</sup>) 以上

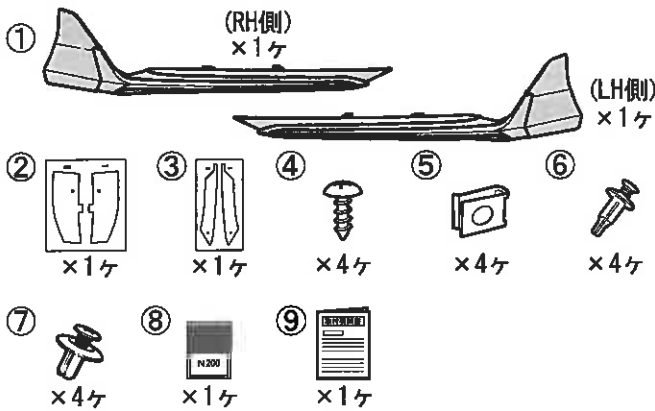
## 取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントウイングスポイラーが、車両に確実に貼り付けされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントウイングスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。  
(両面テープの剥がれ、車両とフロントウイングスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。)



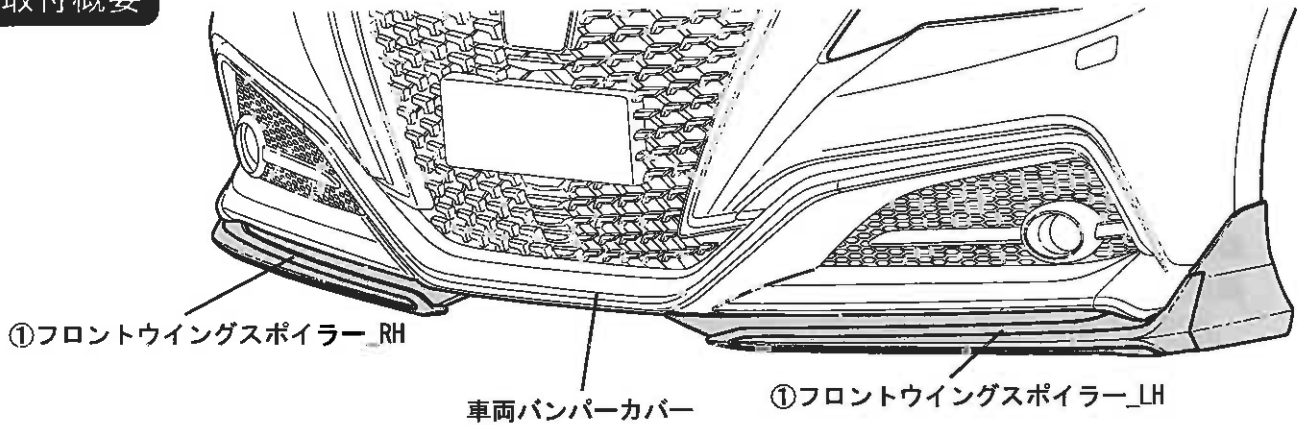
アドバイス...この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



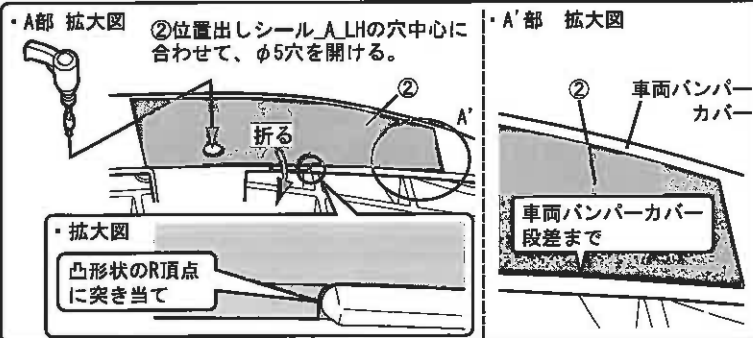
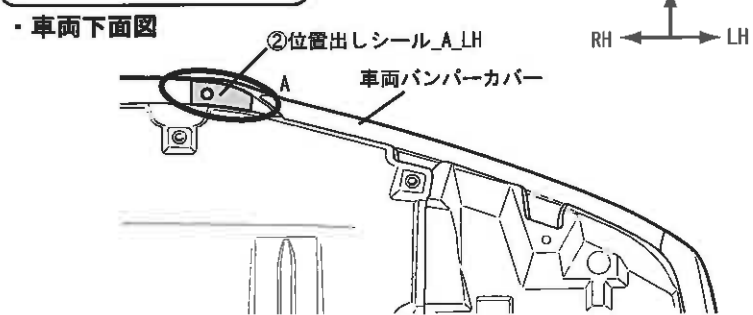
No.	品名	個数
①	フロントウイングスポイラー_LH/RH	各1
②	位置出しシール_A_LH/RH	各1
③	位置出しシール_B_LH/RH	各1
④	タッピングスクリュー (M5×16)	4
⑤	スピードナット	4
⑥	スクリベット (21M2)	4
⑦	スクリベット (49K8)	4
⑧	PACプライマー N200	1
⑨	取付要領書	1

取付概要



取付手順

I. スポイラーの仮当て



※以下の手順はLH側を図示しています  
RH側も同様に作業を行って下さい。

- ②位置出しシール\_A\_LHを車両バンパーカバー下面に貼り付ける。  
(図1 A部 拡大図 参照)
- ドリルを使用して②位置出しシール\_A\_LHの穴中心を狙って車両バンパーカバーにφ3→φ5穴を開ける。(図1 A部 拡大図 参照)

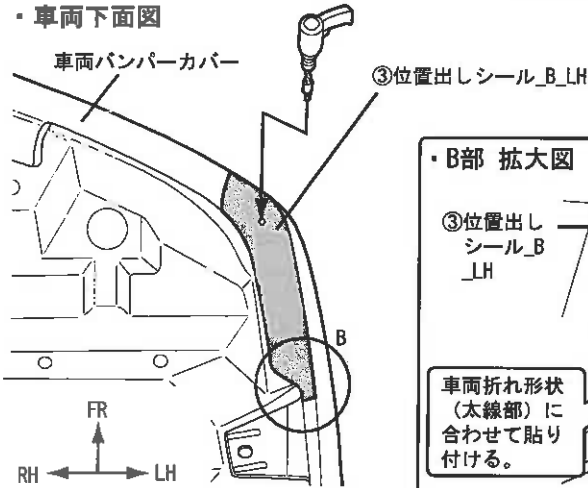
**注意**

突き抜け防止のため、ドリル先端から10mm程度のところにマスキングテープ又はガムテープを巻いて下さい。

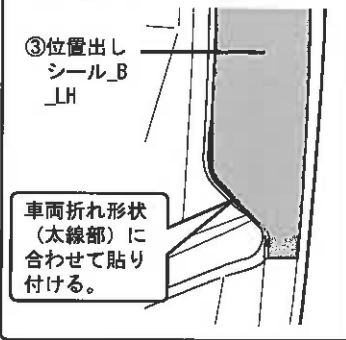
- ②位置出しシール\_A\_LHを車両バンパーカバーから剥がす。

<図1>

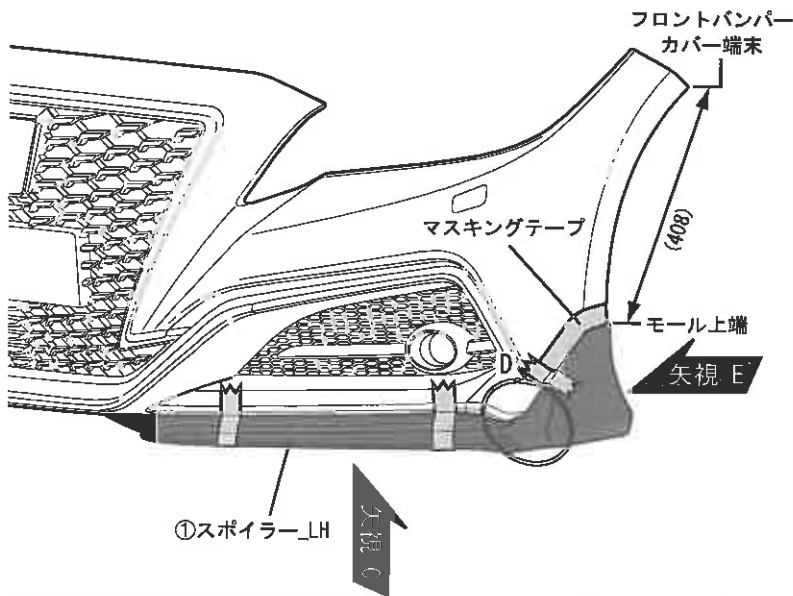
・車両下面図



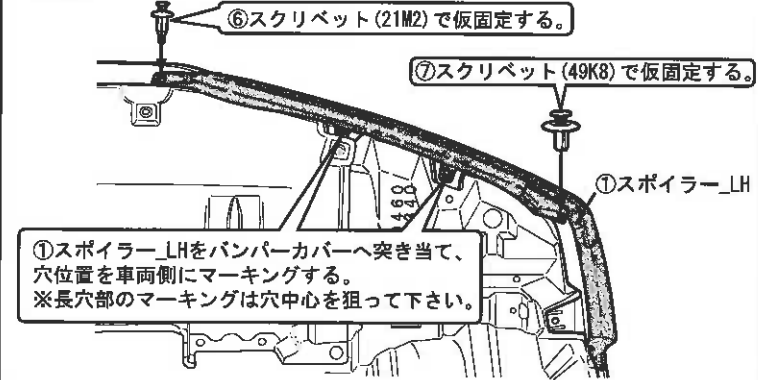
・B部 拡大図



<図 2>

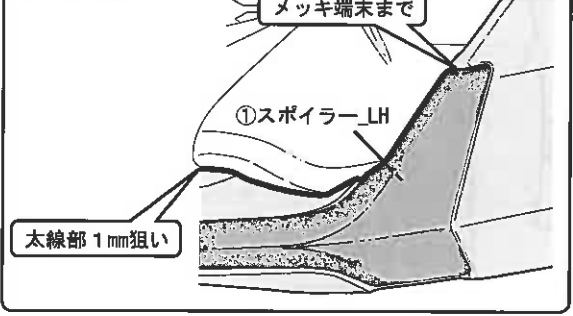


・矢視C



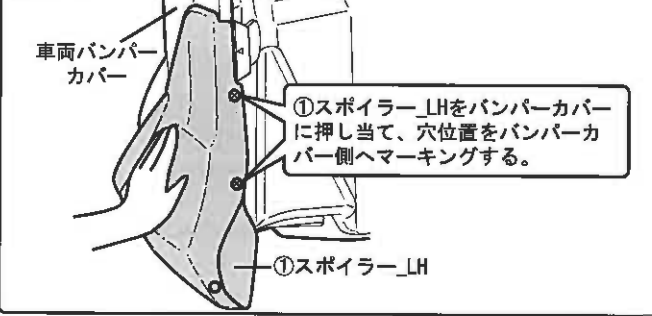
①スポイラー LHをバンパーカバーへ突き当て、穴位置を車両側にマーキングする。  
※長穴部のマーキングは穴中心を狙って下さい。

・D部 拡大図



<図 3>

・矢視E

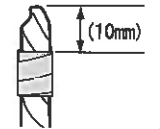


4. ③位置出しシール\_B\_LHを車両バンパーカバー下面に貼り付ける。  
(図 2 B部 拡大図 参照)

5. ドリルを使用して③位置出しシール\_B\_LHの穴中心を狙って車両バンパーカバーにφ3→φ5穴を開ける。(図 2 参照)

⚠ 注意

突き抜け防止のため、ドリル先端から10mm程度のところにマスキングテープ又はガムテープを巻いて下さい。



6. ③位置出しシール\_B\_LHを車両バンパーカバーから剥がす。

7. ①フロントウイングスポイラー LH (以下、スポイラー LHと省略) を、車両バンパーカバーに仮当てし、マスキングテープ等で仮固定する。(図 3 参照)

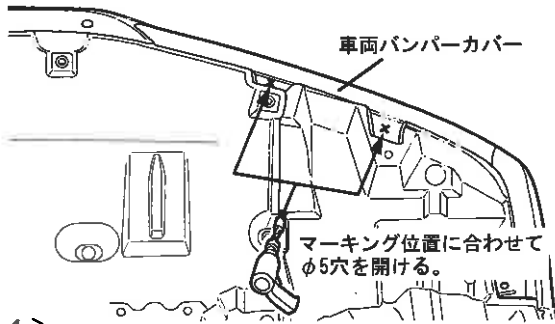
8. マスキングテープを①スポイラー LHのモール上端に合わせて貼り付ける。  
(図 3 参照)

9. 車両下面の穴あけ位置にマーキングする。  
(図 3 矢視C 参照)

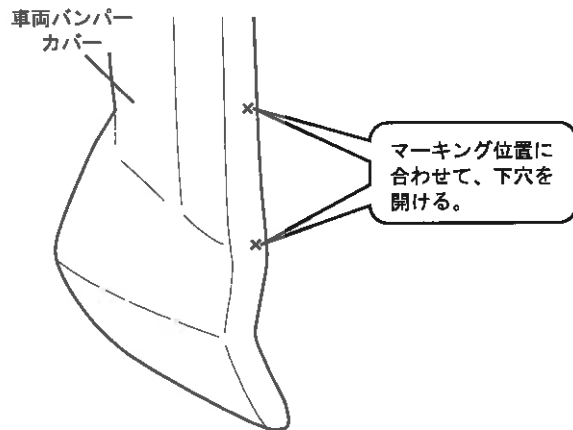
10. ①スポイラー LH側面部を車両バンパーカバーに押し当て、タイヤハウス部の穴位置を車両バンパー側にマーキングする。  
(図 3 矢視E 参照)

11. ①スポイラー LHを取り外す。

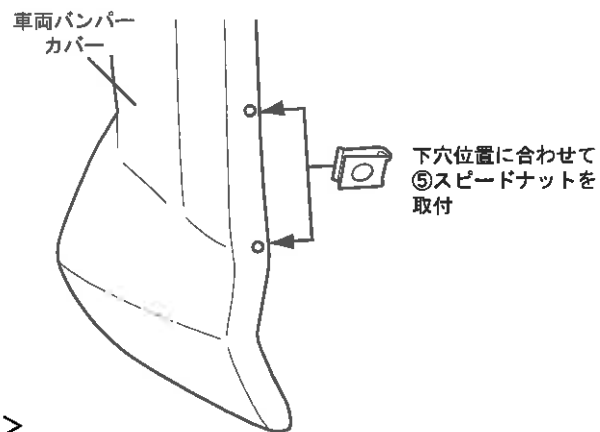
## II. 車両部品の穴あけ



<図4>

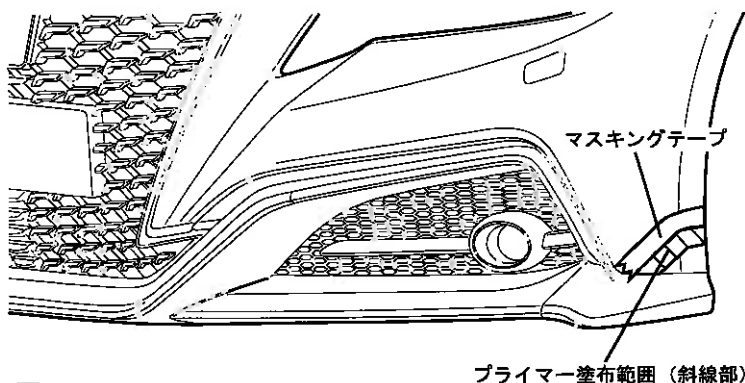


<図5>



<図6>

## III. プライマーの塗布



<図7>

1. ドリルを使用して車両バンパーカバー下面のマーキング位置にφ3→φ5穴を開ける。  
(図4参照)

2. 車両バンパーカバーのマーキング位置に下穴を開ける。(図5参照)



### アドバイス

- ・下穴を開ける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針又は、画紙を用いて行なって下さい。

3. ⑤スピードナットを車両バンパーカバーに取付ける。(図6参照)

1. 両面テープ貼付部(図7斜線部)を脱脂し、⑧PACプライマー N200を塗布する。  
※素地品の場合はPACプライマー K500を同梱しています。



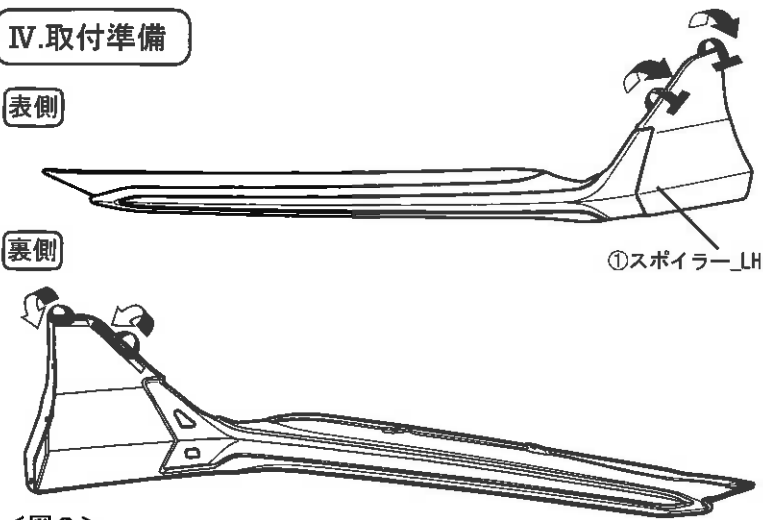
### アドバイス

- ・PACプライマーN200は特に塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・PACプライマーN200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

#### IV.取付準備

表側

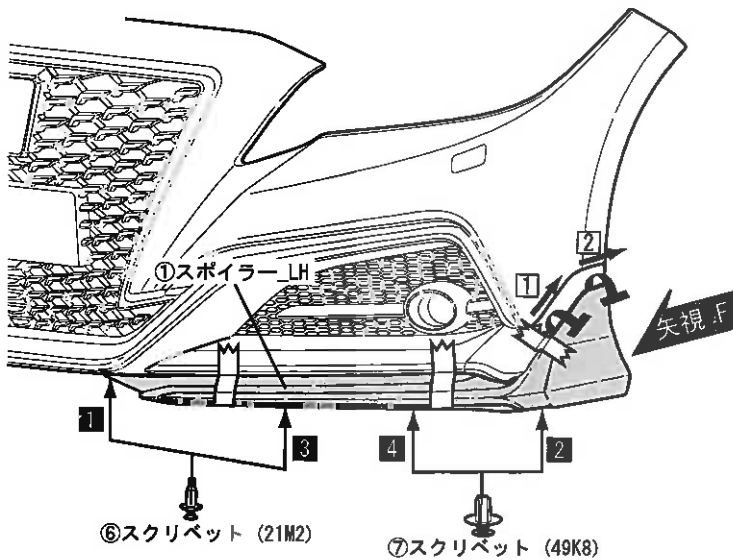
裏側



<図8>

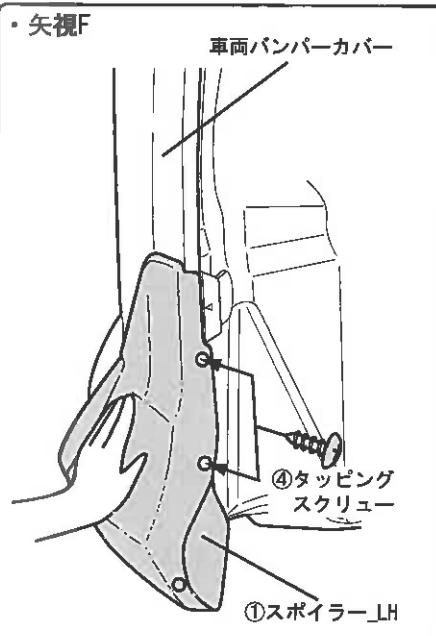
- ①スポイラー\_LHの両面テープ離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで仮固定する。(図8参照)

#### V.取付



⑥スクリベット (21M2)

⑦スクリベット (49K8)



<図9>

- ①スポイラー\_LHを、仮当て時と同様の手順で車両に仮当てする。(3ページ目 図3参照)

#### アドバイス

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。バンパーにつかない様に気を付けて作業して下さい。

- タイヤハウス部を④タッピングスクリュー(M5×16)で仮締めをする。(図9 矢視F参照)

- ⑥・⑦スクリベットを①～④の順に固定する。(図9参照)

- 両面テープ離型紙を①～②の順に引き抜きながら圧着する。(図9参照)

#### アドバイス

- 離型紙が途中で切れない様に、スポイラーを少し浮かせながら離型紙を引き抜いて下さい。
- 両面テープの圧着は、500kPa(5kgf/cm<sup>2</sup>)程度の力で行なって下さい。

- 仮締めしていた④タッピングスクリュー(M5×16)を本締めする。

- マスキングテープを全て剥がす。

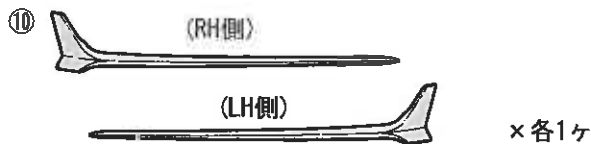
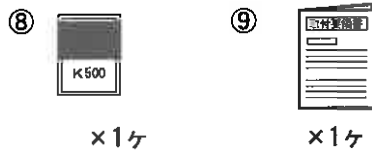
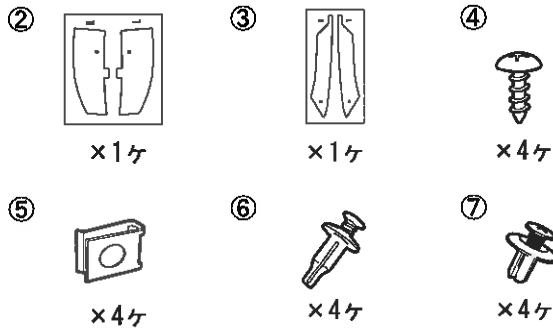
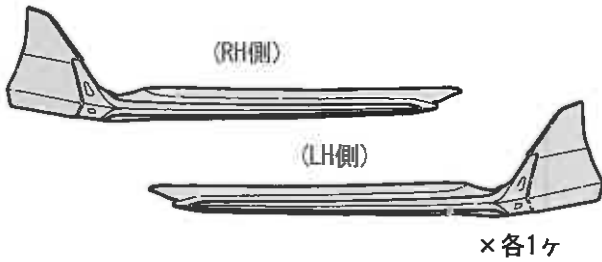
- RH側も同様の手順で取り付ける。

- ①スポイラー\_LH/RHの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープ貼り付け後、3時間以上放置し再圧着して取付作業終了です。

# フロントスポイラー素地品の塗装手順

## 構成部品

①材質：HA-ABS 未塗装品



⑩材質：PP 材着品



No.	品名	個数
①	フロントウイングスポイラー_LH/RH	各1
②	位置出しシール_A_LH/RH	各1
③	位置出しシール_B_LH/RH	各1
④	タッピングスクリュー (M5×16)	4
⑤	スピードナット	4
⑥	スクリベット (21M2)	4
⑦	スクリベット (49K8)	4
⑧	PACプライマー K500	1
⑨	取付要領書	1
⑩	メッキガーニッシュ_LH/RH	各1
⑪	クロガーニッシュ_LH/RH	各1
⑫	フラットブッシュナット	2
⑬	クリップ	2
⑭	エプトシーラ	2
⑮	エンドモール	2

エンドモール推奨使用色	色番号	色名称	モール色
	062	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
	1J6	プレシャスシルバー	グレー
	1F7	シルバーメタリック	グレー
	1K5	プレシャスガレナ	グレー
	202	ブラック	ブラック
	219	プレシャスブラック	ブラック
	3U2	リッチレッドクリスタルシャインガラスフレーク (RD)	ブラック
	3R9	ディーブレッドマイカ IV	ブラック
	4R8	オレンジ M (茜色)	ブラック
	6W4	アルミナジェイド M (翡翠)	ブラック
	8S6	ダークブルーマイカ	ブラック
8W7	ダークブルーマイカ M	ブラック	
8Y1	ピュアブルー M (天空)	ブラック	

## I. 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープを全面マスキングする。
3. 上塗り塗装を行う。  
注記：上塗り塗装はウレタン系をご使用ください。
4. 硬化  
注記：硬化温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で硬化させて下さい。

## II. プライマーの塗布とエンドモールの貼付

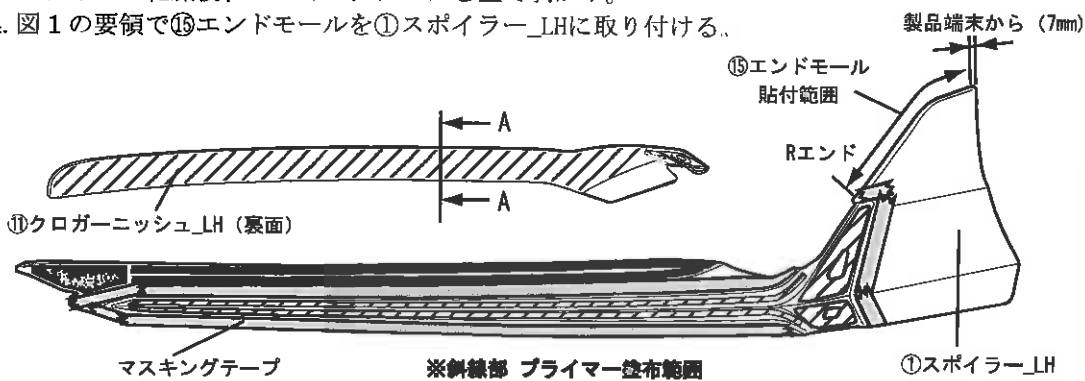
※以下の手順はLH側を図示しています。RH側も同様に作業を行って下さい。

1. 塗装終了後、⑩メッキガーニッシュ取付部外周にマスキングテープを貼り付ける。(図1参照)
2. ①フロントウイングスポイラー\_LH (以下①スポイラー\_LHと省略) の⑮エンドモール貼付部分、⑩メッキガーニッシュ\_LH取付部分、⑪クロガーニッシュ\_LH裏面を脱脂し、⑧PACプライマー K500を塗布する。(図1参照)

### アドバイス

- ・プライマーは車両への取り付け時に再度使用します。
- ・揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・プライマー塗布部以外は必要に応じてマスキングをして下さい。

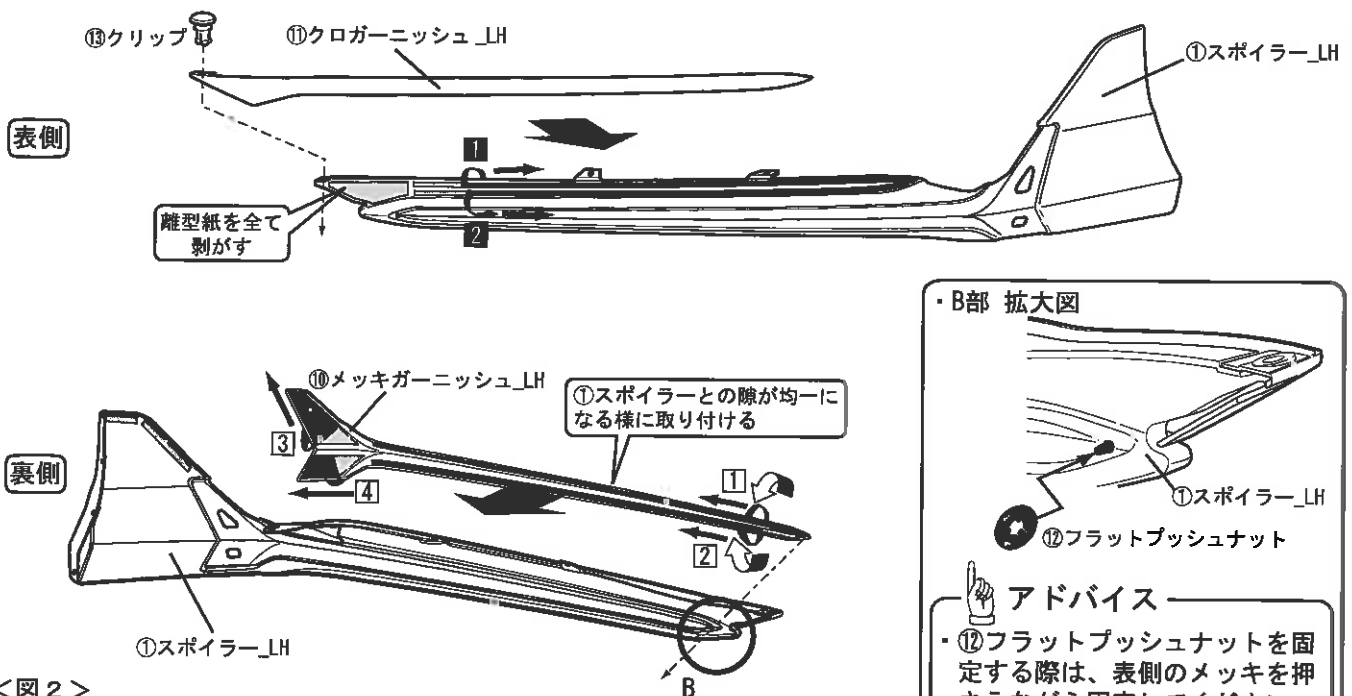
3. プライマー乾燥後、マスキングテープを全て剥がす。
4. 図1の要領で⑮エンドモールを①スポイラー\_LHに取り付ける。



<図1>

## III. メッキガーニッシュ・クロガーニッシュの取付

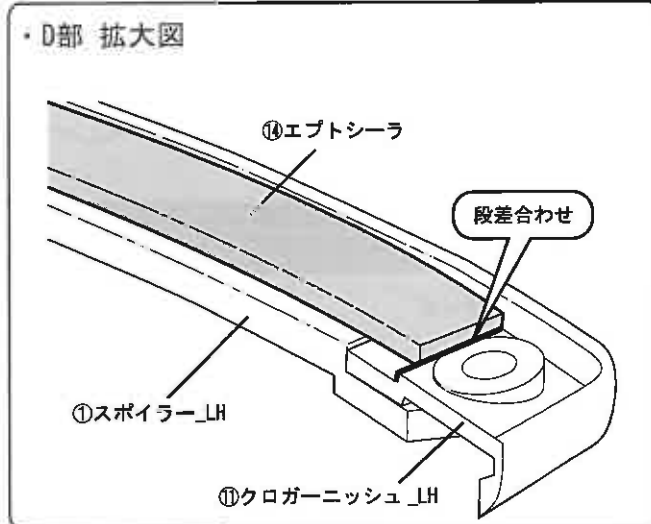
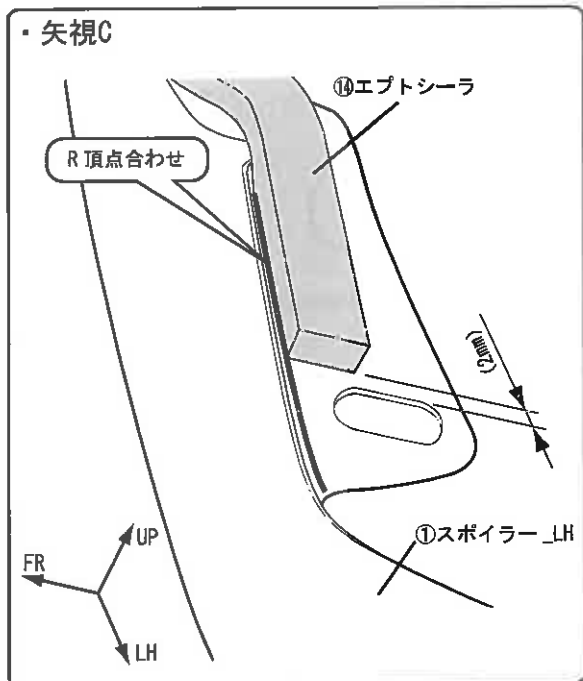
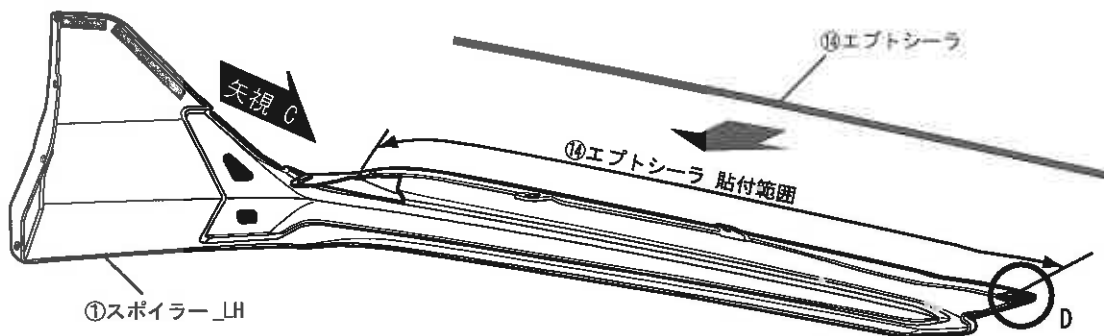
1. ①スポイラー\_LHの両面テープ離形紙を剥がす。(図2表側参照)
2. ⑬クリップを差し込み、⑪クロガーニッシュ\_LHの位置決めを行う。(図2表側参照)
3. 両面テープ離形紙を■～■の順に引き抜きながら圧着し⑪クロガーニッシュ\_LHを取り付ける。(図2表側参照)
4. ⑩メッキガーニッシュ\_LHの両面テープ離形紙を少し剥がす。(図2裏側参照)
5. ⑩メッキガーニッシュ\_LH裏側のピンを①スポイラーの穴に差し込んで位置決めし(B部拡大図参照)、両面テープ離形紙を①～④の順に引き抜きながら圧着する。(図2裏側参照)  
その際、①スポイラーと⑩メッキガーニッシュ上端の隙が、均一になる様にして取り付ける。
6. ⑩メッキガーニッシュ\_LH裏のピンを⑫フラットプッシュナットで固定する。(B部拡大図参照)



<図2>

#### IV. エプトシーラの貼付

1. 図3の要領で⑭エプトシーラを①スポイラー\_LHに貼り付ける。



<図3>

#### ※. 補修キット両面テープ貼り位置

1. 補修キットを使用して、①スポイラーの再取付を行う際は、下図を参照に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。

